

○ 教育指導の重点

	重 点
学校経営	◎全教職員の専門性の向上と、優しさと活力ある学校づくり ・児童生徒の安全・安心に最大限の配慮をしながら、一人一人のニーズに応じたきめ細かな指導により、笑顔でたくましく生きる力を育む教育活動に全教職員で取り組む。 ・効率的な組織づくりとICTを活用した経営に取り組む。
研 修	◎肢体不自由のコア・スクールとしての教職員の資質や専門性の向上 ・実践的な職員研修を計画・実施し、教職員の専門性及び実践力の向上を図る。 ・児童生徒一人一人の実態や障がいに応じた、根拠のある授業づくりを行うための職員研修を充実する。
教科指導	◎小・中・高一貫性のある教育課程の編成と授業実践 ・授業実践（目標→実施→評価）を通して、教育課程や諸計画の検証を行い、小学部から高等部までの学習に一貫性をもち、指導の充実を図る。
道徳教育	◎明るく生き生きと生活しようとする意欲と温かい人間関係の育成 ・自分のよさを見付け、自己肯定感をもって明るく意欲的に生活する態度を育てる。 ・あらゆる機会や場を通して、心のふれあいを大切にし、互いのよさを認め合う温かい人間関係を育成する。
外国語活動 (小学部)	◎外国語を通して、積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成 ・外国語を聞いたり話したりすることで、コミュニケーションを図る楽しさを体験し、日本と外国の言語や文化の違いを理解することで、コミュニケーション能力の素地を育成する。
総合的な 学習・探究の 時間の指導	◎主体的に問題解決する態度を育て、自己の生き方を考えることができる能力の育成 ・児童生徒の興味・関心に基づく課題を各教科等で身に付けた知識や技能を生かして、実践的、体験的に解決する学習活動を工夫する。
特別活動	◎児童生徒の自発性・自主性を生かした特別活動の推進 ・児童生徒主体による「児童集会」「部集会」及び希望フェスタ（学校祭）の運営を行う。 ・校内外の作品展等を通して児童生徒の情操を豊かにし、制作する意欲や感覚を高める。
自立活動	◎障がいによる学習上又は生活上の困難の克服と改善 ・「個別の指導計画」の作成を通して、障がいの状態や特性を的確に把握し、学びの連続性や長期目標を踏まえ、指導すべき課題や指導目標について職員間で共通理解を図りながら、根拠ある指導の実践に努める。 ・具体的な指導内容の設定に当たっては、発達段階、興味・関心、生活経験、長所や得意とすること等、多角的に情報を収集し、児童生徒が意欲的・主体的に取り組めるよう工夫する。
生徒指導	◎自分や周りの人を大切にしながら生活しようとする態度と温かい人間関係の形成 ・児童生徒一人一人の状態を的確に把握し、基本的な生活習慣、社会生活に必要なルールやマナー、意欲的に生活できる態度を身に付けることができるよう指導の充実を図る。 ・家庭や希望が丘こども医療福祉センター、スクールカウンセラー等との連携を深め、安全で安心な学校生活を送るための支援体制を確立する。
キャリア 教育	◎一人一人の社会的・職業的自立に向け、必要な基盤となる能力や態度の育成 ・児童生徒一人一人の教育的ニーズやキャリアの発達段階に合わせた指導を行う。
健康教育	◎児童生徒の心身の健康の保持を目指した保健指導の推進 ・保護者や希望が丘こども医療福祉センター職員、医療機関等との連携を密にし、児童生徒の健康状態の把握及び健康管理、実態に即した保健指導並びに給食指導を推進する。 ・日常的に医療的ケアを必要とする児童生徒の充実した学校生活を目指し、保護者、希望が丘こども医療福祉センター職員、主治医、指導医等と連携し、身体の状態に応じた適切な医療的ケアを推進する。 ◎児童生徒が健康で安全に学習できる環境作りの推進 ・緊急時における校内外の連携・連絡・対応方法等を確認し、適切な対応ができるように、救急処置法及び医療的ケアにかかわる基本的な知識の習得を推進する。